



各学年とも成績に関係なく「復習を中心にしている」と答えた生徒が最も多い。1年生で49%、2年生で36%、3年生で44%であり、「予習を中心にしている」が1年生で12%、2年生で22%、3年生で22%である。教科の特質上、予習よりも復習に重きをおいている生徒が多いようである。

家庭学習は生徒が「学力を向上させる」ために一番必要なことであると認識しており、教師は授業との関連も含め、「学習の手引き」を作成するなどして、望ましい学習の方法を身につけさせる工夫が必要であろう。